

●児玉高校ホームページ●  
<http://www.kodama-h.spec.ed.jp/>



●同窓会ホームページ●  
<http://www.hpmix.com/home/kodamaob/>




発行 児玉高校同窓会  
 会長 瀬山 尚志  
 発行責任者 金井やよひ  
 事務局 児玉町八幡山  
 410 県立児玉高校内

同窓生の皆さんこんにちは  
 卒業以来皆様はどのようにお過ごし  
 でしょうか。今回は、お手元に同  
 窓会報「時の針」を同窓生の皆様  
 にお届け致しました。懐かしい思い  
 出と友人を思い出して頂けましたで  
 しょうか。

三・ 赤城山秩父連山  
 吹きおろす嵐のなみに  
 森影の花すこやかに  
 その生命燃えてつつかん

いかがですか、今でも歌うことが  
 出来ますでしょうか。

本年度より、児玉高校ホームペ  
 ージ内に「同窓会」のページも設ける  
 ことに致しました。

「時の針」のインターネット版を  
 掲載致しました。ご意見等気軽に  
 お寄せ頂ければと思います。

また、同期の同窓会を計画してい  
 る場合はぜひ同窓会事務局あてに  
 お知らせ下さい。ご援助致したいと  
 思います。

【瀬山】

一・ 青空に高くそびゆる  
 白亜の森我が母校  
 時の針めぐりて歌う  
 ともがらの未来を語る

二・ かれ果てた河原たどりて  
 探究の目そそげば  
 鉄の脚地に懂がるれば  
 川底の生命にふれん



### 就任ごあいさつ

同窓会会長 瀬山 尚志



平成十七年度総会において会長に選任されました高校二十二回卒の瀬山でございます。就任にあたり一言ご挨拶申し上げます。

同窓会活動において、松本前会長はじめ先輩役員の皆様には、母校を思う心と同窓会活動へのご努力が人望と信頼を集め、同窓会活動をはじめ新体育館並びに同窓会館の建設、また八十周年記念誌等々に御尽力を賜り、児玉高校へ数多くの功績を残されました。ご苦労さまでした。誠にありがとうございました。

今後また、皆様の知恵とお力を頂いて、鋭意努力致したいと存じます。宜しくお祈り致します。

大先輩にも本部役員をお願い致しており、母校を愛する心の精神が脈々と生きております。母校と卒業生相互を結ぶ場として、より楽しい・魅力ある同窓会をつくるには、同窓生の皆様の御協力と御尽力が必要です。しっかりと敷設された軌道を引き継ぎ、母校愛をもって皆さんと共にあゆみます。

そして、一生つきあえる友を大切に、児玉高校同窓会員が、みんなが手をつなぎ一歩前へ出ることに、母校のために、同窓生のために、何がどんなお手伝いが出るのか。どうしたら良いのか、意見を出しあつて一緒に考え悩みたいと思います。

今、大きな責任を背負ったことになりませんが、皆様のご支援を頂きながら、母校のためにより一層頑張りたいと思います。私たちの母校は五年後には、創立九十周年を迎えます。そのためにも同窓会の若い力を結集し、まず次の事項に取り込

んでまいります。

- 一、組織の拡充委員会の充実に
- 二、創立九十周年記念行事の支援体制確立
- 三、事務局のIT化、ホームページ作成
- 四、親睦事業の拡充 など、

また、昨年に続き高校の文化祭参加し、同窓会館を開放し懐かしい資料などの公開や、秋の観劇と親睦旅行、新年会(毎年一月の最終土曜日開催)など、より多くの同窓生が参加しやすい環境作りを進めたいと思います。よき伝統と信頼がより強固になり、母校の飛躍に役立つよう努めていかねばと決意しております。

尽力に感謝申し上げます。

今後更なるご支援を同窓生の皆様にお願ひ申し上げます。熱い心・情熱を・そして愛情を持ち母校を愛することをお誓ひ申し上げます。今後よろしくご指導、御教示願ひたいと存じます。

### 「児玉高校」

その懐しきひびき

校長 飯塚 和夫



「時の針」、「白亜のもり」、「新世紀」等校歌の語句が語りかけてくるような雉ヶ岡の城址。教諭として、また教頭として、そして校長として三たび児玉高校での教育にあたることになりました。

飯能高校での二年の校長生活でやり残したことがまだまだ沢山あり

ました。後ろ髪引かれる思いでこの三月、新たな気持ちと実家を訪れるような不思議な気持ちで玄関に入りました。

そこには見慣れた掲額や、壁の傷廊下のシミまで八年前と同じものがありました。多くの人が往来した本校の建物群。そして芭蕉の「月日は百代の過客」を具現化して時のうつろいを見つめている緑に囲まれた学舎。

児玉高校を離れていても、心のどこかにいつも気になっていました。関連ニュースや入試志願状況、部活動の活躍など、また旧職員や卒業生の動向などなど。

今、社会の変化、経済状況の変化、また少子高齢社会の中で多くの教育施策が国をあげて行われています。児玉高校も現在一学年六学級規模で推移中。県下公立高校一五〇校余ある中で、よき伝統はさらに充実を、あしき慣習は改善へと「地域に愛され、信頼される学校」

を共通目標に全教職員一丸となって取り組んでいるところです。

卒業生三万人余、八四年の伝統。多くの先人たちが泣き、笑い、青春を鼓舞した児玉高校で、今日も生徒たちが汗し、涙し、学んでいます。卒業してよかったと言えるような学校になればと願っています。

若者たちへの警鐘が絶えない昨今、彼らのために学校教育の立場から全力でぶつかっていくつもりです。家庭教育、地域の教育と相まって明日の社会を担っていく人づくりを目指します。御支援、御協力をよろしくお願い致します。会の御発展をお祈り申し上げます。

## 退任にあたって

前同窓会会長

松本

一夫



同窓生の皆様、お元気にお過ごし

しのこととお喜び申し上げます。私は、平成元年、理事にお世話になり、平成七年からは同窓会長として皆様に支えられながらの十年間、大過なく過ごすごうございました。

これはひとえにお仲間のご支援があったればこそで、一期一会の眞念を大切に、出会いの楽しさを味わい本当に充実した時を過ごすことができました。この間の大きなできごとをひろってみると

一、平成四年から五年にかけて同窓会館建設資金の募金で大事業でした。地元企業に依頼のため数日に亘り企業訪問をしたり、一人でも多くの人に声をかけることで、私も同期の人達にお願いして、多数のご協力を戴き、本当に思い出に残る大仕事でした。

二、平成五年に創立七十周年記念誌の発刊と記念事業の取り組み。  
三、平成十五年創立八十周年記念誌の発刊。

四、同窓会員名簿の発刊。平成三

年七十周年記念事業の一環として発刊し、以後五年毎に新人会員の加入、住所変更等の理由で平成九年と十五年に発刊。

五、会報、時の針の隔年発行。

私の同窓会回顧に一言ふれてみます。同窓会活動の原点とは同窓会員相互の親睦を深めることにより、母校の発展を図り、ひいては地域社会の発展に寄与することだと思えます。それから母校に子供を送り込み、愛して下さるPTA、後援会の皆様には、常日頃感謝の気持ちで一杯です。今後とも連携を密にして、共に良き児玉高等学校を育てていくことが大切と確信しております。同窓会員皆様方の益々のご発展とご健勝を心よりご祈念申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。





# 活躍する クラブ活動

## 全員柔道

男子柔道部 監督 浅岡 一志

同窓会の皆様、いつも母校を暖かく見守り、またご声援をいただき、誠にありがとうございます。

私は、今年で児玉に赴任して十年目になります。前監督の高柳和夫先生の偉大さと引き継いだ重責を痛感している所です。

本年度は、関東大会団体二十八回目の出場と、個人戦ではありますが、全国高校総体(千葉インターハイ)に出場することが出来ました。同窓会をはじめ、OB会、保護者会、学校職員、地域社会のご支援の賜物と、深く感謝いたしております。

男子柔道部で大事にしている事は、

「全員柔道」です。一人は、全員のために、全員は一人の為に頑張り、切磋琢磨する事が、大変重要である事を、日頃より指導しています。

六月四、五日に行われた関東大会では、予選リーグ突破を全員で目指しましたが、まさかの予選リーグ敗退。私も部員達も大変ショックでした。一週間後の全国高校総体個人県予選に、関東大会の負けを引きずらず、力を出し切る事だけを

考え、必要な事だけを言い、生徒に練習メニューを任せ、自主的に行わせる事に努めました。

六月十三日、個人県予選が行われ、一〇〇kg超級三年生の馬場将也が、力を出し切る事が出来、優勝し、全国大会出場を決めました。本人から、

「みんなのお陰で

優勝する事が出来ました。ありがとうございます。」という言葉聞き、大変嬉しく思いました。

翌週の二十、二十一日では、団体予選が行われ、全員でインターハイ出場を目指しましたが、残念ながら、準決勝で敗退しました。生徒の目から落ちる涙を見て、勝たせてあげたかったという気持ちで、私も涙が止まりませんでした。

この気持ちを忘れず、団体でも全国へ出場できるように、生徒と共に頑張っていきます。今後とも児玉高校並びに柔道部へのご支援の程よろしくお願い申し上げます。



100kg 超級 馬場 将也 (3年)  
千葉インターハイ出場(ベスト16)



平成17年度 男子柔道部一同 関東大会出場(28回)



### 女子柔道部発足

女子柔道部 顧問 柏又 洋邦

同窓会の皆様におかれましては、平素より本校柔道部の活動にご支援、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

平成十四年から女子柔道部として生徒会より独立が承認されて以来、「男子柔道部に追いつけ追い越せ」をスローガンに部員全員が一丸となつて稽古に励んで参りました。その結果、十四年度の関東大会初出場をはじめ、十六年度関東大会個人三位入賞、新人戦県大会団体準優勝、全国高校選手権大会五位入賞と確実に成果を上げてきました。

また、今年度は、県大会団体準優勝、個人戦関東大会準優勝をかき取りに、個人戦ではありませんが念願のインターハイに初出場、さらには埼玉県、関東の各予選を勝ち抜いて二名が全日本女子ジュニア柔

道大会にも出場を果たすことができました。発足して間もないチームですが、現在までに、埼玉県チャンピオン七名を輩出することもできました。今後は、団体戦での全国大会出場を第一目標にさらに精進を



ニュージーランドからの練習生 ボールを囲んで(平成17年)

重ね、目標を達成し一日も早く皆様にご報告できるように努力していきたいと思ひます。

最後になりましたが、ここまでこられたのも同窓会をはじめ、OB会、保護者会、学校職員、並びに地域社会のご支援ご協力の賜物と深く感謝いたしております。今後ともよろしくお願いいたします。



千葉インターハイ  
48kg級出場  
葛野 優維



千葉関東大会  
57kg級 準優勝  
富樫 美和

## 県民総体兼県高校新人大会

(2005年11月21日、22日)

県立武道館

- 【男子柔道】男子団体 4位 ①埼玉栄 ②大宮工 ③武蔵越生 ④児玉高
- 男子個人 73kg級 児玉高:赤垣 3位 100kg級 児玉高:渡辺 1位
- 【女子柔道】女子団体 2位 ①埼玉栄 ②児玉高 ③武蔵越生 ④花咲徳栄
- 女子個人 52kg級 児玉高:葛野 1位 70kg級 児玉高:中村 3位
- 無差別級 児玉高:柴崎 3位



# だんべえ踊りに

## 魅せられて

中林 重

十五期

だんべえ踊りの良いところは、観て楽しい、踊って楽しい事が基本コンセプトです。子供からお年寄りの方まで楽しめるのが、だんべえ踊りです。止まって踊れるし、また練り歩きも出来ますし、なんとと言っても踊って楽しいのです。そして健康にもよく、自分の体の状態に合わせて踊れることも魅力です。

踊れば自然と気分が爽快になり、踊っている人の顔を見ていただければ分かるように明るさいっぱい笑顔いっぱい、心のリフレッシュに最適です。現在「児玉だんべえ愛好会」では、だんべえ踊りを通じて健康で明るい地域造りと街の活性化を図り、地域興しの起爆剤となればと、会員百十八名一同で活動を行っておりま

馬県内の市町村とも交流を行っております。

会では、毎週水曜日セルデイで午後七時から練習を行っております。また子供だんべえが毎週土曜日同じくセルデイで午後七時から練習を行っております。新規会員を随時募集しておりますので、興味のある皆様のお気軽にご参加してください。



# ご挨拶

遠藤 武美(木村)

二十七期



本家本元の某国喜び組を手本の為、我等が同窓会を盛り立てるべく存在しております。

ある時は潤滑剤・CRC役、又ある時は裏手に回つての黒子役、そしてある時は表舞台の芸人。そんな風で在りたいと願っております。メンバーを紹介いたします。

一番

優しくて懐の深い女親分  
広報委員長 金井やよひ(関谷)

十九期

二番

細い体に太い信念を宿す  
女流カメラマン

副会長 久保小夜子(内海)

十九期

三番

明るいまードメーカー  
涉外&芸能担当

副会長 沖村 良子(阪本)

二十期

(10ページに続)

拝啓

OBの皆様、お元気で過ごさし  
事とお喜び申し上げます。

ここに紹介させていただきました、  
熟女?グループは、昨年の新年会にてデビュー致しました。俄仕立てのくのいち五人の集まりです。自称「日本よろこび組児玉支部」を名乗り、



# 児玉高校の周辺



児玉の原風景“高窓の里”小平



長泉寺境内を彩る“骨波田の藤”



山車・屋台のお囃子競演で盛り上がる“こだま秋まつり”



県指定史跡 雉岡城跡



アジサイの花が咲きほこる玉蔵寺 児玉





へらぶな釣り有名な間瀬湖



山紫水明の児玉茶 本泉



平成7年10月にオープンした総合文化会館“セルディ”



“あじさいの小路”は遅咲きの  
あじさいで知られています 小平



国指定史跡 塙保己一 旧宅

写真／児玉町役場提供

四番

いつも笑顔のしつかり者  
堅い信用と愛嬌のドジ主

会計幹事 武内 順子(飯塚)

二十二期

五番

何事も全力投球！けれど  
何故かボケをする職人肌

庶務幹事 遠藤 武美

二十七期

以上五名、己を生かし、補い助け合つて、より強く・太い絆を育み、ひいては、同窓会のために役立ちたいと考えます。

会員皆様のご指導・ご鞭撻をよろしく御願ひ申し上げます。

最後になります、会員皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げますと共に、お目にかかる日を楽しみに致しております。

敬具

『篤さんへの想い』

久保佐代子(内海)

二十期

最近頃に月日の流れが早くなったと思う。

極端な例を上げれば、お正月にお盆を、夏には年末の事を考えたりする。

一日がアツと云う間に明け何をす

でも無く暮れる。

今しようとした事が思い出せず、

考えているうちに時間だけが刻々と

過ぎていく。

生活に張りが無い訳ではないけれど、

心から燃える”夢中”というモノに

久しくお目に掛かつて居ない所

為か。

高校の三年間、何故あんなに楽し

かったのかと同期生と話したこと

があった。

学校は楽しかったよね、休み時間も

も昼食時間も部活も…。

友がいて、熱く語る未来はバラ色に輝き、担任のお説教は馬耳東風。いつもお腹が痛くなる程笑つてたあの頃。

恩師の口癖は呆れ声で人生甘いはかりじゃないよだった。声もう一度聞きたいよ。

合唱

ご挨拶

組織親睦委員会

小倉

正貴

同窓会会員の皆様におかれましては益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。今年度から組織・親睦委員会の委員長をお世話になります。二十七回卒の小倉です。歴代の組織・親睦委員長方々の後を引き継いで、総会・親睦旅行・忘年会・新年会等、各行事の企画・運営に努めさせて頂きます。どうぞ宜しくお願いいたします。

さて十七年度の親睦旅行は十二月十日(土)に親睦旅行と忘年会

を併せて行う、題しまして東京散策の旅。国立劇場での文楽・鬼一法眼三略巻(義経と弁慶を解説付き)の観劇を主に、築地の散策(場外市場で買物等)新宿での忘年会(駅から近い鳥園で鳥コースの舌鼓)を企画しております。東京散策の旅を満喫して頂けるのでは？

新年会は一月二十八日(土)グランドホテルで開催予定です。楽しみながら親睦を深めて頂けます様、盛り沢山の趣向を企画していきたいと思ひます。皆様のご意見・ご要望をお聞きしながら四季折々の名勝・観劇等企画していきたいと思ひます。委員会一同、皆様の御参加とご意見・ご要望をお待ちしております。





### 卒業して十数年

中西 昭子(田村)

四十一期

私が高校を卒業したのは、年号が昭和から平成に変わった年でした。もうあれから十七年。その後、進学・就職・結婚・出産と周囲の環境も変化しました。そしてたくさんの人と出会い、別れもありました。出会いの中で最も大きかったのが、だんなと子どもです。子どもは、女の子で五歳です。子どもは、保育園に通っていて、保育園での出来事を帰ってくる話してくれます。とても話し好きです。

また、最近はお気に入りビデオがあり、毎日観ています。そのビデオは、手話ダンスビデオなので私を誘って一緒に画面を見ながら楽しく踊っています。

最近子どもが「赤ちゃんがほしい」と言うようになりました。そんな娘の願いも叶い来年の一月に第二子

を出産予定です。

また、新たな出会いがひとつつつありそうです。



懐かしい旧校舎

**会報発行に  
ご協力を!!**

会報「時の針」を発行いたしました。

会報発行の援助金として同窓生の皆様に応援をいただき、末永く会報が続きますよう協力をご依頼申し上げます。

(発行協力金として二、〇〇〇円送金された方に、今後二〇年間会報をお送りいたします。)

#### 【振込・連絡先】

埼玉県本庄市児玉町八幡山四一〇

埼玉県立児玉高等学校内

埼玉県立児玉高等学校同窓会事務局

(誠におそれいますが現金書留等にて、また、事務局へご連絡をいただけましたら、振込書をお送りいたします。)

# 俳句・短歌・詩

① 高麗人こまびとの 縁えにしを今も 曼珠沙華

② 暑に耐える 猫の襦袢むつぎを 愛おしむ

③ 返してよ 拉致の家族の 長き夏

内田 洋子(渡辺)  
十四期

① 校門を くぐれば乙女に 早変わり

そこは私の タイムトンネル

② 教室の 机に向かい 黒板に

今も在りしの 恩師の姿

③ 球を追い コート狭しと 駆け回る

校舎見上げて 昔を思う

④ 夕暮れに 部活終わって 空きっ腹

いつもの店で ホツと一息

⑤ 同窓会 居たっけこんな お友達

逆に言われた あたな誰なの

⑥ 雉岡会 お世話になつて 十五年

先輩後輩 盃をくむ

沖村 良子(阪本)  
二十期

## 心をこめて愛する人へ

鳩が飛び立って行った

晩秋の明治神宮で

ふたりの足が砂にくい込む

ずいぶん長い間 何も話さないで歩いた

貴方は突然 黄色いイチヨウの葉を

大切そうに拾い上げ

”私が東京に来たしるし

貴方と歩いた思い出の道の葉ね”と言った

やはり貴方は行ってしまふのですね

そしてその日が近いのですね……

## 慕情

貴方との出会い

これも運命でしょうか

私の人生を 生き方を変えた人

本当にいたのですね

今 私のすべてです 貴方が……



藤井 昭  
十八期





# 思い出のアルバム

科学部 (昭和41年)



家庭部 (昭和41年)



2年5組 (昭和39年)



卓球部 (昭和39年)



テニス部 (昭和41年)



本部役員と理事

先般の総会において、新役員を選任が承認されましたので、ご紹介いたします。長い間、ご尽力をいただきました前役員の皆様に改めまして御礼申し上げます。

会長 瀬山 尚志  
副会長 根岸 義守

(担当)

吉田 豊彦 育英・ルネッサンス  
久保佐代子 名簿・広報  
沖村 良子 親睦・組織  
岩上 高男 親睦・組織  
幹事 武内 順子 名簿・広報  
川上 守之 育英・ルネッサンス  
遠藤 武美 親睦・組織  
高島 美希 名簿・広報

監査役 倉林 栄一

相談役 立花 勲

顧問 吉川 幸男  
林 喜一  
梅沢 仁  
松本 一夫  
田島 敏包

各委員会の理事の紹介

〈名簿作成・広報委員会〉

会長 金井やよひ  
副委員長 山崎 康雄  
幹事長 鈴木 薫  
委員 伊藤 フサ  
浅見 透  
森田 菊江  
中西 昭子  
木村 浩平

〈組織・親睦委員会〉

委員長 小倉 正貴  
副委員長 野沢 公代  
委員 今泉 好美  
高橋百合子  
長谷川昌則  
桜井 直子  
齊藤 定一  
田島 勇八  
高木 弘之  
大山 智代  
新井 晃  
鈴木 正弘  
木村 葉子  
岩丸 彰男  
石原 秀一  
伊達由香里  
長谷川志野夫

〈育英・母校ルネッサンス委員会〉

委員長 小林 修  
委員 新井 初枝 高木 清憲  
木村 史雄 小林太美枝  
秋間喜代子 荒井 一夫  
高柳 和夫 根岸 勝利  
下部 義子 田島瑣智子  
脊山 知教 石坂 清  
阪本 和絵 福島 慎治  
秋山 和広 吉野 勇  
飯野 晴美

編集後記

皆さん、お元気でしょうか  
新春に広報「時の針」十五号をお届け致します。

今会報は、ページ数を増やしOB会ホームページ、大活躍のクラブ活動、思い出、短歌、なつかしの写真、カラー写真等で編集致しました。  
このことにより、児玉高校、故郷、なつかしの青春を少しでも思い出してもらえれば幸いです。

ご協力いただきました皆様、ありがとうございます。  
〈広報委員会〉